

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	23443	
事業名	(株)コンサドーレ補助金						
評価担当課	所属名	ス)スポーツ部 企画事業課					
	課長名	深井 貴広	担当者名	若松 亮太	電話番号	011-211-3044	
施策名	主	-					
	副						
アクションプラン	<input type="radio"/> 対象	<input checked="" type="radio"/> 対象外	戦略ビジョン	<input type="radio"/> 対象	<input checked="" type="radio"/> 対象外		
事業の性質	<input checked="" type="radio"/> 経常経費	<input type="radio"/> 臨時的経費					
	<input type="radio"/> 内部管理	<input type="radio"/> 法定経費	<input type="radio"/> 指定管理				
事業内容	実施形態	<input type="radio"/> 直営	<input type="radio"/> 一部委託	<input type="radio"/> 全部委託	<input checked="" type="radio"/> 補助助成	<input type="radio"/> その他	
	目的	短期	プロスポーツの支援をすることで、「みるスポーツ」の機会の創出、地域の活性化やコミュニティの醸成に寄与する。				
		長期	プロスポーツの支援をすることで、「みるスポーツ」の機会の創出、地域の活性化やコミュニティの醸成に寄与する。				
	取組内容	【目的】プロスポーツ支援 【内容】コンサドーレ札幌の運営会社である(株)コンサドーレへの補助。 ①下部組織育成事業 ②サッカー普及育成事業 ③試合運営補助組織育成事業 ④厚別競技場周辺地域安全対策費 ⑤障害者スポーツ普及促進事業					
実施結果	①下部組織育成事業 U-12、U-15、U-18:各種全国大会出場等 ②サッカー普及育成事業 学校訪問、幼稚園保育園訪問など ③試合運営補助組織育成事業 登録ボランティア数230人以上 ④厚別競技場周辺地域安全対策費 住宅地を考慮した特別な警備体制の構築 ⑤シットスキーの体験会および小学校の体育授業に講師を派遣						
事業実施における工夫点	なし						
対象者	株式会社コンサドーレ			開始	平成11年度	終了	0 年度
関連法令・条例・要綱等							
他都市の状況	山形県(モンテディオ山形)、松本市(松本山雅FC)、静岡市(清水エスパルス)、富山県(カターレ富山)、鳥取市(ガイナーレ鳥取)北九州市(ギラヴァンツ北九州)など多くの自治体で補助金を支出している。						

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費	65,800	63,000	63,000	63,000
うち特定財源	0	0	0	0
人工	0.1	0.1	0.1	0.1
人件費	720	720	720	720
計(事業費+人件費)	66,520	63,720	63,720	63,720
事業費の内訳	令和3年度決算	63,000千円		
	令和4年度予算	63,000千円		

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	スポーツ実施率(20歳以上・週1回以上)			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	54.90%	60.00%	57.70%	60.00%	
活動指標2	指標名	直接スポーツ観戦率(18歳以上・年1回以上)			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	20.00%	45.00%	22.40%	25.00%	
成果指標1	指標名	シーズン観客動員数			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	81,029人	335,000人	151,315人	250,000人	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	天候に左右されずに試合観戦が楽しめる観戦環境が整った札幌ドームにおいて、一定数のプロスポーツの試合や国際大会が開催されることにより、多くの市民に対する試合観戦の機会を提供することができ、本市のスポーツ振興の推進を図ることができた。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	ドームの独自減免、(株)コンサドーレの観客増への努力を考慮した上で三者応分の負担という考えに立ち、本市の負担分を計算しており、妥当な金額と考えている。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	運営会社である(株)コンサドーレは、自立経営に向けた努力を鋭意続けてはいるが、依然として経営状況は厳しい状況にあり、安定的な試合開催のためには補助金による支援が妥当であると考えている。			
対象者の満足度 (対象者のニーズにしているか)	A	北海道コンサドーレ札幌は、地域に密着したトップスポーツであり「みるスポーツ」の機会の提供のみならず、市民が自分のまちのチームとして応援し、支えることを通して、地域の活性化やコミュニティの醸成に貢献している。 運営会社である(株)コンサドーレは、自立経営に向けた努力を鋭意続けてはいるが、依然として経営状況は厳しい状況にあり、安定的な試合開催のためには補助金の交付が不可欠であると考えている。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応	<input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映	
今後の改善点	同クラブは、2016年に4年ぶりのJ1昇格をしてから5年が経過し、売り上げは伸びつあるものの、J1に定着し続けるために必要なチーム人件費は確保できておらず、更なる観客動員数アップや、新規スポンサー獲得を行うなど、より一層の経営努力が必要な状況であることから、行政からの支援を受けなくても安定して各事業を実施できる経営体質の強化が求められる。				
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	なし		見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	多くの市民に試合観戦の機会を提供することで、本市のスポーツ振興の推進を図ることができた。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	● 改善 ○ 現状維持 ○ 休止・廃止 (株)コンサドーレの経営状況を見極めつつ、適切な支援のあり方を検討していく。			
	予算	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 ● その他		見直し効果額	0 千円
		同社の経営状況を見極めつつ、適切な支援のあり方を検討していく。			